

体験談レポート

ユーザー： H.S(50代・男性) 埼玉県
商品名： ニュウモラップジャケット
テスト日時： 2009年11月27-29日
アクティビティ： BCスキー(北アルプス 立山室堂周辺)
テスト環境： 晴れ/曇り (-6 / +3) 風速 1~11m/s
当日のレイヤリング： ニュウモラップジャケット、
他社化繊長袖ジップネック、他社化繊冬用ロングT
フラッドラッシュスキンスメッシュT、BC用アウター



~風の強い日のハイクアップの強い味方!~

恒例の立山初滑り。3連休は雪不足と早とちりをして山小屋をキャンセル、11月最終の週末にテントを担いで行ってきました。テント泊の場合荷物が多いのでフリースなどの嵩張るウェアはザックに入らないし、かといってアウターと共に着込んで汗をかきながらアルペンルートを移動するのは気が進まない。こんな時ザックの隙間にねじ込めるニュウモラップの収納性は大変ありがたい。快晴に恵まれた初日は雄山山頂から山崎カールへのドロップインを狙った。もちろんニュウモラップをアウターにしてハイクアップを開始。

浄土山のトラバースが終わって称名川の源頭部に入るとかなり強い風が吹いていたが、薄い生地にもかかわらずしっかりした防風性がありアウターを着る必要がなかった。加えてピットジップを大きく開けていても上半身の大部分はしっかり風から守られるので防風性と放熱性が高いレベルで両立していることが確認できた。これは風の強い日のハイクアップの強い味方である。1時間弱で到着した一越は雪面に置いたスキーが流されそうになるくらいの強風。ここではさすがに寒くてアウターを着用したが11月末の立山ということを考えれば当然だろう。火曜日に降った雨のために斜面はどこもアイスバーンと化していたため残念ながら山崎カールは断念。称名川の沢筋の吹き溜まりを拾いながら雷鳥平へ向かって滑り降り、その後は付近の斜面で滑って遊んだ。風のない場所でニュウモラップをミッドレイヤーとして着てアップダウンのある地形を行動するとさすがに暑さを感じた。今回は従来と同じレイヤリングにニュウモラップを付け加えたのであるが、今後は愛用の厚手の重いアンダーウェアを1ランク薄い物に変えて軽快に行動できるということだろう。2日目の午前中は風が強く日の差さない寒い日であったが、アウターを脱いでハイクアップしても昨日と同様全く寒さを感じることはなかった。



午後は期待もしていなかった快晴に変わり、大走り付近のまぶしいノートラックパウダーを堪能。こんな時はニュウモラップで滑ってみてもいいかとも思ったが、転倒した際に隠れ岩などに当たって破損しないとも限らないのでやめておいた。雪がたっぷりある春スキーなどにはアウターとして十分活躍できるだろう。

3日目も午前中は快晴。室堂山や国見岳のノートラックパウダーを独占して今年の初すべりが終わった。

今回ニュウモラップをBCスキーに初使用した結論は以下3点。

1. ハイクアップのアウターとして着用した場合大きなピットジップを全開にしても上半身の大部分は強風からもしっかり守られるので保温性と放熱性が両立し、風の強い日に大変重宝である。
2. ミッドレイヤーとして着用した場合保温性が高いのでアンダーウェアを1ランク薄くできる。もちろんフリースは不要。
3. ザックの隙間にねじ込めるすぐれた収納性。

ちなみに今回初めて使ってみたスパイルフィルスキーソックスですが、汗やムレが全く気にならず、3日間履き続けたにもかかわらずほとんど臭いもしなかった事を付け加えておきます。

